

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年4月25日 NO.7

タヌキ 「ぼく、タヌキ！」

アナグマ 「わたし、アナグマ！」

ハクビシン 「おれ、ハクビシン！」

ケモノ達 「それで、おれたちみんなで

♪ケモノ、ケモノ、ケモノ

ケモノ3兄弟♪」



花ちゃん 「『だんご3兄弟』というのは、

聞いたことがあるけど…。」

モンタ博士 「ケモノ3兄弟もそのうち

大ブレイクするかもね。」



花ちゃん 「そうですね。ところで、

モンタ博士、それぞれの動物

には、どのようなとくちょう

があるんですか。」

モンタ博士 「それはオー君がくわしいよ。」

オー君 「えっへん。まず、タヌキは

犬の仲間なんだ。においを

かいだり、音を聞いたりす

るのが得意なんだ。でも。目はあまりよくないんだ。」



花ちゃん 「目があまりよくないので、夜、活動するんですね。」

オー君 「それから、タヌキはとても清潔（せいけつ）ずきなんだ。自分の巣（す）を

ウンチでよごしたりはしないんだ。」

花ちゃん 「それじゃ、どこで、ウンチするの。」

オー君 「ウンチは、タヌキがいつも通る道で、きまった場所にしかしないんだよ。」

花ちゃん 「ちゃんとしたトイレみたいなものがあるの。」

オー君 「トイレとはいえないけど、きまった場所にするんだよ。それで、『タヌキのためぐそ』とも言うんだ。」(注：モンタ博士はためぐその継続観察を1ヶ月したことがあります。)

花ちゃん 「へえー！ そうなんだ。それから、体には、どんなとくちょうがあるの。」

オー君 「どうがともかく長くて、足が短い。鼻（はな）が丸くて目立つ。それに目のまわりの黒いもようがあるのがふつうだね。」

花ちゃん 「ハクビシンって、どんなとくちょうがあるの。」

オー君 「ハクビシンは、ジャコウネコ科で、ハクビとは、漢字で「白眉」で鼻（はな）のところに白いスジがあるからなんだ。」

花ちゃん 「アナグマって、クマの仲間なのかな。」

オー君 「クマの仲間ではないんだ。アナグマはタヌキににているけど、イタチの仲間さ。タヌキよりさらに足が短くてがんじょうにできているんだ。タヌキとは、鼻の形がちがっていて、少しだえん形だね。」

花ちゃん 「なんで、アナグマっていうの。」

オー君 「前足を見てごらん。大きなつめがあるだろう。あなほりがじょうずなんだよ。それで、アナグマなのさ。ムジナとも言うよ。それから、タヌキと同じくにおいをかいだり、音を聞いたりするのは得意で、目はあまりよくないね。」

モンタ博士 「オー君はいろいろくわしいね。哺乳類（ほにゅうるい）博士だね。」

オー君 「あ！ それから、野生の動物はいろいろなばい菌（きん）をもっているから、かってにさわっちゃいけよ。でも剥製（はくせい）ならOKなんだ。」

